

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トラッキングの手順](#)

[関連情報](#)

概要

デバイスに冗長化電源が含まれている場合、電源モジュールの 1 つが停止または状態が変化した際に、デバイスにトラップを生成させるように選択できます。トラップはルータとスイッチの両方に存在し、状態の変化や障害を通知して、変化の性質に応じたより詳しい情報を示します。このドキュメントでは、冗長化電源の 1 つが停止または状態が変化した際に、Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) を使用して、トラッキングを行う方法について説明しています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、冗長化電源を備えている Cisco ルータおよびスイッチに対して有効です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

トラッキングの手順

ルータでは、[CISCO-ENVMON-MIB MIB](#) による `ciscoEnvMonRedundantSupplyNotification` トラップを確認します。変数 `ciscoEnvMonSupplyDescr` および `ciscoEnvMonSupplyState` では、変化の性質に関する詳細が説明されます。 `snmp-server enable traps envmon` コマンドを設定して、トラップをイネーブルにする必要があります。

スイッチでは、SNMP トラップの chassisAlarmOn を確認します。変数 chassisTempAlarm、chassisMinorAlarm および chassisMajorAlarm がトラップに含まれており、これらは進行中の特定のシャーシアラームを判別するために必要です。これらすべてのトラップは、[CISCO-STACK-MIB](#) によるものです。

関連情報

- [簡易ネットワーク管理プロトコル \(SNMP\) に関するサポート リソース](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)